

# <産地推進計画の作成における留意事項>

## <No.>

- ・「(都道府県番号)-(産地番号)」と記載。  
都道府県番号: 都道府県ごとに割り振られた番号を記載  
産地番号: 一つ目の計画から順に001、002、・・・と記載

No.	
策定年月	令和〇年〇月
見直し年月	令和〇年〇月

## 水田農業高収益化推進計画 〇〇産地推進計画

## <構成機関・団体名及び役割>

- ・ 関係する地方公共団体(都道府県出先機関、市町村)が入っていること。
- ・ 販路確保に関わる組織が入っていること。
- ・ 事業を実施する場合、事業に関わる組織が入っていること。
- ・ 関係機関名は具体的に記載。

## 1 計画作成主体の情報

名称					
構成機関・団体名及び役割分担	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 普及センター	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 町	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 農協	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 農業再生協議会	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 土地改良区
<品目名>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
(例)	×:デントコーン	×:シャインマスカット	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 農業者		
	○:子実用とうもろこし	○:ぶどう			

## <品目名>

- ・ 品目名を記載。
- (例)  
×:デントコーン                      ×:シャインマスカット  
○:子実用とうもろこし            ○:ぶどう

## <現状値>

- ・ 災害や大豊作等により直近年のデータの活用が不相当と判断される場合は3カ年平均や5カ年平均の使用も可能。  
(直近年を活用できない理由や経年の推移が分かる資料を参考資料として添付。)

## 2 推進品目及び目標

品目名	用途	露地/施設	産地名	目標						
				作付面積		収量		販売額		
				現状値	目標値	現状値	目標値	現状値	目標値	現状値
				ha	ha	kg/10a	kg/10a	円	円	
				(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)
				ha	ha	kg/10a	kg/10a	円	円	
				(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)	(令和〇年)

※ 「用途」欄には、用途に応じて「生食用」「加工・業務用」「飼料用」「切り花用」等と記載する。

※ 同一の品目であっても、用途や「露地/施設」の別が異なる場合や、出荷団体が複数ある場合には、項目を分けて記載し、

「産地名」欄に●●農協 ●●集落 ●●学区など一定のまとまりを持って高収益作物又は子実用とうもろこしの作付はに取組む範囲が分かる名称を記載すること。

- ・ やむを得ない理由(収量が安定するまでに年数を要する等)により目標値が都道府県や産地の平均単収よりも著しく下回ってしまう場合は、
  - ①目標が著しく低い理由や収量向上のために取り組む事項
  - ②収量が少なくても、経営が成り立ち、継続性があること(当面は他の作物と組み合わせて生産できる等)を示す参考資料を添付。
- ・ また、目標年度よりも前に目標を達成していることが実績報告で確認できた場合は、目標の見直しを実施。

## <目標値>

- ・ 各項目がいずれも増加する目標設定となっていること。
- ・ 設定した目標の妥当性が分かるよう、県や地域の統計データなどを参考資料として添付。
- ・ 販売額は向上するが販売単価が低下する設定となっている場合、理由と妥当性が分かる資料を参考資料として添付。

既存の農業者一覧がある場合には、活用事業が分かるようにして添付資料として提出することで代替可能。  
 その場合には、「農業者名」欄に「別紙のとおり」と記載。

<農業者名>  
 ・ 個人名、法人名を記載。(JAの部会名などは不可)

3 農業者一覧

No.	農業者名	産地名	活用事業							用途	備考
			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ		

<産地名>  
 ・ 農業者の作付品目が分かるように産地名を記載。  
 ※ R3年4月以降は様式を修正します

【記載例】  
 ○○地区(品目名)

- 「農業者名」には、以下のいずれかに該当する者の氏名を記載する。
  - ・ 水田活用の直接支払交付金「水田農業高収益化推進助成」を活用する者
  - ・ 4の事業計画に位置付けた事業の受益者でありかつ、高収益作物又は子実用とうもろこしの作付けを行う者
- 「産地名」には、2の推進品目及び目標に記載した産地名のうち、農業者が所属する産地名を記載する。
- 「活用事業」には、以下のうち活用する事業の欄に「○」を入力する。
  - ⑦時代を拓く園芸産地づくり支援事業
  - ⑧畜産生産力・生産体制強化対策事業  
(飼料生産利用体系高効率化対策のうち国産濃厚飼料生産利用推進)
  - ⑨生産基盤の整備(農業競争力強化基盤整備事業等)
  - ⑩強い農業・担い手づくり総合支援交付金のうち  
先進的農業経営確立支援タイプ・地域担い手育成支援タイプ

- ⑪強い農業・担い手づくり総合支援交付金のうち産地基幹施設等支援タイプ
- ⑫果樹農業生産力増強総合対策  
農地耕作条件改善事業のうち未来型産地形成推進条件整備型
- ⑬水田活用直接支払交付金のうち水田農業高収益化推進助成



## 5 過去に実施した事業

事業名	実施期間	実施主体	事業内容

- 過去5年以内に、産地内で完了した高収益作物又は子実用とうもろこしの導入に係る事業（4の事業計画の（ア）～（オ）に該当する事業）を記載する。
- 事業実施に当たって作成した計画を添付する。

### 【その他留意事項】

- ・ 文字の見切れ、図形との被りがないように留意する。（Excelファイルでは、プレビューと実際の印刷が異なる場合があるため留意する。）
- ・ 県計画は「策定する」、産地計画は「作成する」と使い分ける。
- ・ 句読点は「、。」を使用する。（県、市町村等において文書規則等がある場合を除く）
- ・ 1桁の数字は全角で2桁以上の数字は半角で記載する。
- ・ 計画内で金額の単位を統一する。（円、千円、百万円、億円等）
- ・ ×：令和1年→○：令和元年